

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一関市かるがも教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月7日		～ 令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和8年2月9日		～ 令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月19日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通所の特徴を生かしたこども・保護者支援	親子通所により、「保護者がこどもの成長をとまに感じられ、関わり方を学ぶことができること」「こどもの状態像や育ちの度合いを共有しやすいこと」「保護者と話す機会を持ちやすく、悩み相談がしやすいこと」などの利点があります。これらの利点を生かし、保護者にもこどもにも満足してもらえるような支援を常にチームで検討しています。	引き続き、こどもの強み(ストレングス)をしっかりとらえて保護者と共有し、保護者の悩みや疑問に寄り添った支援を心がけていきます。
2	こども1人につき担当指導員が一对一で行う担当制の支援	決まった指導員との関係構築によりこどもが安心感を得やすいよう、こども一人につき担当指導員が一名配置される担当制を採用しています。担当児のアセスメントをしっかりと行うことで、保護者にも安心感を持っていただけるよう心掛けています。また、怪我がないよう日々指導時に気を配っています。	担当制の良さを生かしながら複数の視点でより良い支援ができるよう、担当指導員だけでなくチームとして支援を構築し、より満足度の高い支援を目指します。
3	より効果的な療育支援のための施設の活用	療育支援を前提とした施設であるため、個別活動や小集団活動など、その時の支援に適した活動場所を選定して支援しています。また、スヌーズレンの設備も活用し、こどもにとってより良い支援となるよう、環境調整をその都度工夫して行っています。	通常支援に加え、パニック時にクールダウンできる場所を決めるなど、効果的な療育支援だけでなく、こどもが安心感を得られるような取り組みを行っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や各種専門職との連携の強化	保育園等に併行通園しているこどもがほとんどであるため、事業所として地域に開かれた運営ができているとは言えません。また、主治医等との連携が十分でないケースもあり、医療の専門家との連携には改善の余地があります。	地域に開かれた運営については、保護者の気持ちに配慮しつつ、今後どのような方針が望ましいかを検討していきます。医療との連携については、主治医との連携方法を検討していきます。
2	支援日数の確保等、支援回数の充実	土日祝日が休業日であることや、親子通所およびグループ制での支援が行われていることから、1グループあたりの通所回数に限りがあることが挙げられます。また、より多くの子どもに通所してもらうことを重視しているため、一人あたりの活動回数に影響が出ていると考えます。	グループ制での支援は支援回数の充実に影響していると考えますが、支援上の利点も多くあります。グループ制の利点を維持しながら支援回数を増やす方法について今後も検討していきます。 在籍グループの活動日に参加できないことが続いたり、個別支援を優先する方が望ましい場合には、別途対応を検討するなど可能な限り配慮します。
3	保護者支援・きょうだい支援の充実	親の会や勉強会を開催するなどの取り組みについて試行錯誤していますが、参加のために仕事を休むことが難しい保護者がいたり、気軽に参加しやすい曜日設定ができなかったことが、参加を控える一因になったと考えています。	仕事が忙しい保護者でも参加しやすいよう、活動日に合わせて保護者交流会を実施するなど、参加しやすい形態を検討していきます。また、きょうだい支援については、どのような方式がより効果的であるかも含め、支援の在り方を検討していきます。